【授業科目】基礎看護学演習Ⅱ（看護の諸活動・看護技術教育に関する文献検討）Advanced Seminar of Fundamentals of Nursing Ⅱ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
久留島 実姫、草野 純子	１年次 後　期	選択	２	６０	演習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	看護活動、看護援助技術およびそれらの基礎教育に関する文献検討を行い、実践の場における適用、評価方法を理解するとともに研究課題および研究方法について学ぶ。また、看護基礎教育における技術教育の課題と教育方法を考える。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／授業時間内に学生とのディスカッションを通して検討し、口頭でコメントする。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	1. ヘルスケアにおける看護活動の課題を把握し、文献検討を通して看護活動の専門性、健康(医療)・福祉・看護の連携の方法を考えることができる。 2. ヒューマンサイエンスとしての看護援助技術の evidence を理解し、文献検討を通して看護援助技術の構造や有効性･妥当性の検証方法を説明することができる。 3. 看護教育における基礎援助技術教育の課題を把握し、カリキュラム、教育方法を考えることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	1～20 回　事前に配布された資料を授業前に通読し、知識の整理をしておく。（各 60 分） 1～20 回　提示された課題に関連する文献レビューを行い、プレゼンテーションの資料を作成する。（各 180 分） 21～28 回　看護教育のカリキュラムおよび授業計画を立てる。（各 90 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1 時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	１～10 回　ヘルスケアにおける看護活動の検討 各自が文献を選択してまとめ、プレゼンテーションを行う。 文献検討を通して研究の課題、研究方法を学ぶ。 11～20 回　看護援助技術の検討 看護援助基礎技術に関する研究文献を選び、抄読会を行う。 テーマ：安全・安楽、環境の調整、感染予防、人間工学と看護、日常生活行動援助、その他 各自が文献をまとめ、プレゼンテーションする。 文献検討を通して研究の課題、研究方法を学ぶ。 21～28 回　看護援助基礎技術の教育 看護教育における看護援助基礎技術の教育を考える。 カリキュラムの作成、ひとつのテーマを選び授業計画を立てる。 教育の評価について学ぶ。 29～30 回　まとめ 全て 久留島 草野
評価方法 評価基準	授業（ディスカッション）への参加度（50%） レポート・プレゼンテーションの総合評価（50%）
教科書	使用しない。　　参考書等　適宜紹介する。